

指標と目標

サステナビリティ行動計画はオカムラグループのマテリアリティ（経営の重要課題）およびその他社会課題で構成されています。各課題について関係部門が達成度を測るKPIを設定し、年度目標を立てて取り組みを展開。サステナビリティ委員会・サステナビリティ推進プロジェクト等の推進組織の中で取り組みの進捗についてモニタリングしています。

サステナビリティ行動計画（重要課題）

自主評価の凡例 ☺=目標達成 ☹=一部未達 ☹=未達

分野	重要課題	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標
人が活きる環境の創造	モノ・コトづくりのクオリティの追求 イノベーションの推進と新しい価値の創出 7 8 9 12	中期経営計画2025 参照 2023年5月10日 開示 中期経営計画2025 説明資料 https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/	<ul style="list-style-type: none"> 企業の成長を支え多様な働き方に応えるソリューションの提供 小売業が抱える社会問題の解決とみらいの店づくりの研究・開発 スマート物流に貢献する製品・サービスの開発 産業車両向けの環境対応型製品の開発 	2024年5月13日開示・ 2024年3月期決算説明会資料 	2023年度目標継続	顧客・社会への新たな価値提供による「人が活きる社会の実現」
	安全な製品・サービスの提供 9 12	重大製品事故発生件数 * 重大製品事故の定義: 当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	0件 	0件	—
地球環境への取り組み	サーキュラーエコノミーの推進 3 6 7 9 12 13 14 15 17	省資源・廃棄物削減による資源循環の推進	生産系廃棄物の社内完成高あたり前年度比 1% の排出量 原単位低減	生産系廃棄物等排出量 原単位前年度比 3.1% 増加で未達 	生産系廃棄物等排出量 社内完成高あたり前年度比 1.0% の原単位低減	2030年度生産系廃棄物の2020年度比 9% の排出量原単位低減
		製品開発における環境配慮型企画と設計推進	グリーンウェーブ・グリーンウェーブ+製品開発率の向上	開発率向上活動中 	環境配慮販売製品の管理指標の設定と実態把握	—
	持続可能な自然資源の利用と保全 6 12 13 14 15 17	森林資源の持続可能な利用の推進	木材利用方針に基づいた利用率集計	利用方針遵守中 	木材利用方針に基づいた合法性の再確認	—
	環境影響度の低減	前年度比 1% の水資源使用量 原単位低減	水資源使用量 原単位 前年度比 5.8% 低減で達成 	水資源使用量 社内完成高あたり前年度比 1.0% の原単位低減	2030年度 10% の水資源使用量削減（2020年度比）	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

サステナビリティ行動計画（重要課題およびその他の社会課題）▶ P.149 ～ ▶ P.151

分野	重要課題	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標	
地球環境への取り組み	気候変動問題への貢献とカーボンニュートラルの実現 7 9 13 15 17	地球温暖化防止対策の推進 ● 温室効果ガス排出量低減 ● 燃料系エネルギー使用量低減	グループ全体で 1,000t-CO₂/年 の排出低減 ● 工業用燃料使用量 5年度平均1%低減 ● 車両用燃料使用量 5年度平均5%低減	グループ全体で 1,264t-CO₂/年 の排出低減 ● 工業用燃料使用量 5年度平均6.5%低減で達成 ● 車両用燃料使用量 5年度平均15.7%低減で達成	グループ全体でスコープ1+2排出量 2020年度比 20% 削減 ● 工業用燃料使用量 5年度平均1.0%低減 ● 車両用燃料使用量 5年度平均5.0%低減	2030年度温室効果ガス排出量 50% 削減(2020年度比)、2050年カーボンニュートラルを目指す	
		エネルギー生産性向上	エネルギー生産性 前年度比 1% 向上	生産系エネルギー生産性 前年度比 0.6% 減少で未達	● 省エネ法対応によるエネルギーの効率利用 ● 生産系エネルギー消費原単位 社内完成高あたり前年度比 1.1% 低減 ● 事務所系エネルギー消費原単位 総人員あたりのエネルギー消費原単位維持	2030年度エネルギー生産性向上 10% (2020年度比)	
従業員の働きがいの追求※	Work in Life (ワークインライフ) の推進 3 8	従業員満足・エンゲージメントの向上	● 働きがい向上施策の実施 ● エンゲージメントサーベイの実施	エンゲージメントサーベイ結果 レーティング「CCC」 (参照 ▶P.77)	● エンゲージメントスコア向上 ● 重点改善項目の設定	2025年度までにBレーティング達成	
	DE&I (ダイバーシティ・エグイティ&インクルージョン) の推進 5 8 10	女性従業員比率	(2024年度までに 22%)	22%	😊	23%	—
		女性管理職比率	6.5%	6.8%	😊	7%	—
		新卒女性採用比率(大卒)	(2024年度までに 40~50%)	47.9%	😊	40~50%	—
		男性育休取得率	65%	63.3%	😊	65%	—
		(男性育休+配偶者出産休暇)取得率	— 2024年度より目標管理	92.4%	—	100%	—
	障がい者雇用率	2.50%	2.55%	😊	2.58%	2025年度 2.7%	
キャリア形成支援と専門人材育成の強化 4 8	育成面談実施率	100%	96.4%	😊	100%	—	
	強みにつながる専門職への各種施策の実施	専門職の技術とスキルの把握	強みにつながる知識習得や国家資格等の取得推進	😊	各事業本部の戦略に沿った専門人材育成のプログラム企画運営の体制とスキームの構築	—	
	オカムラ ユニバーシティ受講アンケート「今後のキャリアに活かせる」	満足度 80%	受講者の 89.6% が今後のキャリアに活かせると回答	😊	受講者の 95% が今後のキャリアに活かせると回答	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

※対象範囲：オカムラ単体

サステナビリティ行動計画(重要課題およびその他の社会課題) ▶P.149 ~ ▶P.151

分野	重要課題	KPI	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標	中長期目標
責任ある企業活動	公正・透明・誠実な行動 5 8 10 16 17	サステナブル調達調査実施率	取引金額ベースで 67%	取引金額ベースで 71% 	取引金額ベースで 70%	—
		サステナブル調達 実地監査 実施率	ハイリスクサプライヤーに対して 100%	100% 実施 	ハイリスクサプライヤーに対して 100%	—
		人権教育（社内）の実施と充 実、サステナブル調達との相 乗効果	購買関連部門へ教育実施	20部門 57人 	購買関連部門へ教育継続	—
		入社時および新任役職者向け コンプライアンス教育実施率	100%	100% 	100%	—
		コンプライアンス研修の充実	各種コンプライアンス教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 全社コンプライアンス研修（4回/年）実施  ● その他、課題別研修の実施 	コンプライアンス研修の充実	—
リスクマネジメントの強化 10 11 16	BCP（災害）構築	ハザードマップ（地震・洪水）の 見直し	各拠点のデータベースにおい て、ハザードマップポータルサ イト（国土交通省）に連携済み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対応マニュアルの見直し ● BCP（災害）構築 	—	
	各国要請に合わせた個人情報 管理	諸外国の同法規則対応	法規制に合わせたプライバシー ポリシー改定 	— （2024年度より目標管理から除外）	—	
適正な情報開示と ステークホルダーとの対話 16 17	ステークホルダーとの対話継 続と取り組みへの反映	ESG関連各外部有識者とのステ ークホルダーダイアログ実施	担当部門が日常的に環境や人権、 サステナビリティ推進分野の有 識者と面談・意見交換を実施 	ESG関連各外部有識者とのステ ークホルダー ダイアログ実施	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

サステナビリティ行動計画（重要課題およびその他の社会課題）▶ [P.149](#) ~ ▶ [P.151](#)

2023年度の活動総括

オカムラグループは2019年度からサステナビリティ行動計画の前身となる「CSR行動計画」を策定。2020年度からは各課題に対するKPIと年度目標を設定し、取り組みを展開してきました。

2023年度はマテリアリティ（経営の重要課題）の見直しに合わせて、サステナビリティ行動計画の見直しを行い、各計画のもと、取り組みを推進しました。一部目標未達の項目もあるものの、全体としては目標達成が多くを占め、良好な結果となりました。